

川内原発 新「安全神話」押しつけるな

安倍政権は、川内原発（鹿児島県）について原子力規制委員会が、規制基準に「適合」と判断したことを受け、再稼働を表明しました。お粗末な基準で再稼働を強行するのは、新たな「安全神話」を振りまくもので許されません。

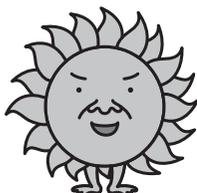
■政府は「世界で最も厳しい規制基準」と言いますが、真っ赤なウソです。欧州連合（EU）で採用されている格納容器の二重化も求めています。

■深刻なのは火山噴火の影響。「大噴火の予知は困難」（専門家）なのに、その対策も住民の避難計画にもまともに対応していません。



川内原発の再稼働やめよ、原発なくせと集まった人たち 8月30日、国会前

再稼働の根拠は崩れた 「原発ゼロ」決断を



©カクサン部！

原発を断罪する司法の判決が相次いでいます。

福井地裁

大飯原発再稼働を差し止め

福井地裁判決（5月21日）は①「人格権」を最優先＝「命とくらしをまもる以上に大切なことはない」という立場で判決②原発の「異質の危険」を指摘③「安全神話」を断罪④安全よりコスト優先を批判—など画期的なものです。

2つの判決
共存できない
人類と原発は

福島地裁

避難中に自死した女性に賠償命令

福島地裁は、避難者の自殺は福島原発事故が原因と認定しました（8月26日）。

二つの判決は「人類と原発は共存できない」ことをはっきり示しました。

48年ぶり「稼働ゼロ」

今年の夏は、1966年に日本で商業用原発が稼働して以来48年ぶりに「原発稼働ゼロ」の夏になりました。電力不足はどこにも起きず、原発なしでやっていけることが証明されました。

夏も電力不足起きず

福島原発事故

政府が公表した福島第1原発の吉田昌郎元所長（故人）の聴取記録は、原発はひとつたび大事故を起こしたら制御不能

新しい政治へ4つの転換

日本共産党

「海外で戦争する国」づくりを中止し、憲法9条を生かした平和日本に

国同士のもめごとは、話し合いで解決—東南アジアにある平和の仕組みを、北東アジアに広げる。

くらし破壊の「逆立ち」経済をただし、くらし第一で日本経済を再生

「税金は負担能力に応じて」「内部留保の一部を賃上げに」—大企業と富裕層に応分の負担を求め、国民の所得ふやす経済改革を。

原発再稼働を止めて、「原発ゼロ」の日本に

米軍新基地建設をストップし、基地のない平和な沖縄を



吉田調書

制御困難まざまざ

になり、被害が際限なく広がることを生々しく伝えています。原発の特別の危険性を浮き彫りにしました。